

光圀公がつくった水戸桜川の景色を、みんなで受け継ぎ・育て・未来へつなごう！

# 水戸桜川千本桜プロジェクト

MITO SAKURAGAWA SENBONZAKURA PROJECT SINCE 2012

光圀公も斉昭公も愛花は桜でした。



水戸桜川千本桜プロジェクト

桜の  
救  
跡

関南沖書



完成予想CG・桜川橋から上流を望む

# 光圀公がつくった水戸・桜川の景色を

## みんなで受け継ぎ・育て・未来へつなごう！

水戸のほぼ中央部、偕楽園や千波湖といった水戸を代表する景観をつつみこむように流れている桜川。多くの人々の永年の努力で、市民にも、訪れた人にも「素晴らしい景色だね」と愛されるようになった桜川。でも、みなさんは桜川のことをどれだけ知っていますか？ 駅南や千波湖や偕楽園のあたりだけが桜川だと思っていませんか？

実は、桜川は、水戸の誇り、“黄門さま” 2代水戸藩主・徳川光圀公によって命名されたのです。

時は江戸前期の元禄9（1696）年。以前からこの川を訪れていた光圀公は、現在の偕楽園よりも上流にあたる見川・河和田の川沿いに、世阿弥がつくった能の謡曲「桜川」の舞台である常陸国磯部から、ヤマザクラ数百本を移植させ、その名を「佐久良（さくら）川」と改めさせました。偕楽園が出来るまでは、水戸の人々はみな、桜の時期になるとこの場所を訪れ花見の宴を催したのです。

江戸後期の天保4（1835）年には、9代藩主・徳川斉昭公が、この桜川の南側に牛馬を放牧し「桜野牧」をひらき、天保12（1841）年、偕楽園開園と同時に本園の向かいに桜山をつくりました。実は歴史上の「弥生時代」の「弥生」も元をただと、斉昭公と桜に由来があります。

お殿様たちをはじめ昔の水戸の人々は、梅と同様に桜をととても愛していたのです。

ところが、偕楽園の梅の人気とは対照的に、光圀公の植えた桜川の桜は、近代になるとすっかりなくなり、だれもここがなぜ「桜川」なのかさえわからなくなったのです。そのことを憂えた河和田村の青年たちが、大正4（1915）年に、桜を復活させようと、一部に植樹をおこないました。

青年たちの活動から100年。きれいに整備された駅南から偕楽園周辺の桜川の景色とは違って、桜川の名前の発祥の地はまだ整備がなされていません。

わたしたちは、光圀公が名付けたこの地に、ヤマザクラなどを、市民の手で植えて復元させていこうと考えています。このことは光圀公が大切にされた、歴史を未来につなぐ「彰往考来」という水戸の教えを実践することでもあり、斉昭公がつくられた日本初の「公園」偕楽園の意図する「ともにたのしむ」という考え方にも通じるのです。

そしていずれは、桜山・千波湖・西の谷・駅南・・・すでにある桜川下流周辺の桜と一体となった景色をつくり、源流の朝房山や森林公園、分流の備前堀とつながる六地藏寺や大串貝塚などとも結んで、桜川沿いに「水戸・桜の廻廊」をつくっていく夢もあります。

わたしたちは、歴史を引き継ぎ未来へ手渡すことを、光圀公から託されました。その象徴として桜川沿いに桜の景色を復活させ、育て、未来にバトンをつないでいく。年齢を問わず、桜を通じて郷土を学び・桜を育てることで水戸を再発見していただきたい、と思っています。

具体的には、歴史や桜についての学習・桜の育成や植樹・管理などを、できることをできる範囲で無理なく行っていきます。皆さまのお力をお貸しください。桜をごいっしょに咲かせましょう。

詳しい活動内容・会規は、公式ホームページ <http://senbonzakura310jimdo.com/>

公式フェイスブック <https://www.facebook.com/mitosenbonzakura>

資料請求・お問い合わせは、

〒310-0913 茨城県水戸市見川町2131-175 稲葉方 電話・FAX 029-241-6349

**水戸桜川千本桜プロジェクト 事務局**

## I. 組織について

- (1) 総会 正会員によって構成されます。年一回家業計画等を検討して議決します。
- (2) 役員会 総会によって選任された役員(幹事・監事)によって構成されます。活動上に必要な意思決定の議題・実施要領をとりまとめ、スタッフに示します。
- (3) 事務局 広報・会計・総務・渉外等の事務作業を担当します。
- (4) スタッフ 会員によって構成されます。役員会によって決定された議題・実施要領について、検討協議の上、実行していきます。ミッションごとに委員会や作業部会がつくられ、役員会からチーフ(責任者)が指名されます。

## II. 会員制度について

- (1) 正会員 活動理念に賛同し、運営に参画する会員です。活動のスタッフとして随時参加することができます。総会での議決権を持ち、理事会のメンバーも会員から選出されます。
- (2) 準会員(サポーター) 活動理念に賛同し、主に資金面でのサポートをする会員です。活動のスタッフとして任意に参加したり、イベントに参加できますが、総会での議決権を持ちません。
- (3) 小中高生会員 活動理念に賛同し、活動のスタッフとして任意に参加したり、イベントに参加できますが、総会での議決権を持ちません。保護者の活動承認を要します。

※本プロジェクトは公益財団法人日本花の会の地方組織「水戸桜川日本花の会」としても活動し、同会の技術指導や苗の供与を受けていく予定です。頂いた会費から花の会の会費を支出してまいります。

## III. 主な活動内容



- ・年数回の桜見学ツアー
- ・水戸と桜の歴史講座
- ・桜の育て方・管理の方法の講座など楽しくてためになる学びの場に参加することができます。

- ・桜の種の採取活動
- ・桜の苗の育成
- ・植樹活動
- ・植樹後の管理育成活動などに参加することができます。



## IV. 会員になると

- ・会員証をお届けします。
- ・年数回発行のレポートをお届けします。
- ・イベント・ツアーのご案内を優先的にお知らせします。
- ・育成した苗を植樹する権利が得られます(※計画につき後日ご案内します)
- ・会の作成するグッズなどを割引価格で購入できます。

\* FAXまたは郵送にてお送りください。(FAXの際は事前にお電話いただいた上での送信をお願いします)

## 水戸桜川千本桜プロジェクト 入会申込書

私は、水戸桜川千本桜プロジェクトの会規に同意し、会費を納入するとともに、水戸桜川千本桜プロジェクトの会員になることを申し込みます。

申込日 20 年 月 日

※は必須事項です。

ふりがな			
氏名(団体名)※			
生年月日※	(西暦) 年 月 日	性別※	男・女
住所※	〒		
電話・FAX※		携帯	
e-mail			
勤務先			
勤務先住所	〒		
同電話 他			
会員要件※	個人会員(正)・団体会員(正)・個人会員(準)・団体会員(準) 大学生会員・小中高生会員 (いずれかに○)		
会費※	__口____円 * 下記および会規参照		
備考			

年会費について 1口1000円として・・・

正会員(会の運営・随時スタッフ・イベント参加) 個人 2口2,000円～ 団体 5口 5,000円～ 大学生 1口1,000円～  
準会員(スタッフ・イベント任意参加) 個人 3口3,000円～ 団体 5口 5,000円～  
小中高生会員(スタッフ・イベント任意参加) 会費無料(備考欄に保護者の署名捺印が必須)

年会費振込先 常陽銀行 見和支店(店番号126) 普通1479688

ミトクラカワセンボンザ`クラブ`プロジェクト イナバ`シ`ユロウ

※振込手数料は恐れ入りますが申し込まれた方の負担となります。